## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設値	置認可年月	日 权	長名		10000	所在地		
横浜ビューティーア	一卜専門	平瓦	〒 2210822 平成16年4月1日 小泉 いづみ (住所) 神奈川県横浜市神奈川区					※川区西神奈川1-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19	6	
学校 設置者名			2認可年月		表者名		5-434-2846	所在地		
	**						3-0033			
学校法人三幸等	学園	昭和	060年3月	8日 馬	居敏		京都文京区本郷ヨ -3814-6151	三丁目23番16号		
分野		認定課程名		認定学科		専門士	L認定年度	高度専門士認定		<b>亨門課程認定</b> 年度
衛生	徫	生専門課	星	美容科	•	平成17	7(2005)年度	_	平成2	28(2016)年度
学科の目的				をミッションとし、学校教 成することを目的とする		、美容業界に従	送事しようとする者に	必要な実践的かつ専門	的な知識、技能を教授	することによって、
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	美容師国家	家資格、CIDI	ESCO 衛生	管理資格、きもの講師	<b>万免許 2~3級、</b>	サービス接遇	検定 1~3級□			
修業年限	昼夜	全課程の値		な総授業時数又は総 立数	講事	<b>美</b>	演習	実習	実験	実技
<b>2</b> 年	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	単位時間 67 単位	19	単位時間	単位時間 69 単位	単位時間 2 単位	単位時間 0 単位	単位時間 28 単位
生徒総定員	生徒到	€員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割·	合(B/A)	中退率	•	•	
350 人	260	Д		0 人	0	%	0.0 %			
	■卒業者		:	97	ı	Ż.				
	■就職希 ■就職者	望者数 (D) 数 (E)	:	95 95		<del></del>				
	■地元就	職者数(F)		40		人				
	■就職率	(E/D) に占める地	元分映 安介	100		%				
				42		%				
	■卒業者(	こ占める就職	養者の割合	(E/C)						
±1. min 64 1	■進学者	数		98 0		人				
	■その他			<u> </u>		. •				
	=+ >< +== 4=	+>1 0.F7								
	就職希望	なし 2名								
	(令和	6	年度卒業者	に関する令和7年5月	1 日時点の情報	₹)				
		職先、業界								
	(令和6年度		,							
美容室、エステサロン、ネイルサロン、メイク事務局、ホテル等の美容、ブライダル業界										
	X1		ノ、ネイル・	サロン、メイク事務局	、ホテル等の	美容、ブライタ	『ル業界			
	■民間の	評価機関等	手から第三	者評価:	、ホテル等の	美容、ブライタ	「ル業界  無			
第三者による	■民間の		手から第三	者評価:	、ホテル等の	美容、ブライタ				
	■民間の ※有の場合	評価機関等	手から第三	者評価:	<ul><li>、ホテル等の</li><li>受審年月:</li></ul>	美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した		
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等	手から第三	者評価:		美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL		
第三者による 学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体:	いら第三 について任	者評価:		美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL		
第三者による 学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等	いら第三 について任	者評価:		美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームベージUR L		
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j	手から第三 Fについて任 ip/yokohan	者評価:		美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームベージURL		
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j	から第三 について任 ip/yokohan 算定)	者評価:		美容、ブライタ	<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL	① 維行時期	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j	テトレン (Ficon of the polyokohan fip / yokohan fip / yokoha	者評価: 意記載 na-beauty/	受審年月:		<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL	0 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j な時間による 総授業時数	きから第三 について任 ip/yokohan 算定) うち企業等	者評価: 意記載 na-beauty/	受審年月: 電・実技の授業		<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	存から第三 について任 p/yokohan 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実	受審年月: 電・実技の授業		<b>無</b> 評	価結果を掲載した ームページURL	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	きから第三 について任 ip/yokohan 算定) うち企業等	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実	受審年月: 電・実技の授業		<b>無</b> 評	価結果を掲載した	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	存から第三 について任 p/yokohan 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実	受審年月: 習・実技の授業 業時数	<b>连時数</b>	無	価結果を掲載した	単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	存から第三 について任 p/yokohan 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載  na-beauty/  を連携した実験・実行と連携した演習の授え	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・	実習・実技の	無	価結果を掲載した	単位時間単位時間単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	p/vokohan 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 受響・数	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.j 立時間による 総授業時数	p/vokohan 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 受響・数	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.i な時間による 総授業時数	夢から第三 デについて任 「	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 受響・数	無	価結果を掲載した ームページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.i な時間によるる 総授業時数	夢から第三 デについて任 「	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 受響・数	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等と連携を決れた況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.i な時間による 総授業時数	夢から第三 デについて任 「	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 受響・数	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等と連携を決れた況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ic な時間によるる 総授業時数 な数による第	から第三 について任 p/yokohan 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業	者評価: 意記載  ha-beauty/  を連携した実験・実行を連携した演習の授え業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月:  習・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技の 実習・実技の が授業時数 受業時数)	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	から第三 について任 p/vokohan 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企者 定)	者評価: 意記載  na-beauty/  Eと連携した実験・実行と連携した演習の授う 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月:  3・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	実習・実技の 実習・実技の が授業時数 受業時数)	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等と連携を決れた況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	から第三 について任 p/vokohan 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企者 定)	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	受審年月:  3・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	実習・実技の 実習・実技の が授業時数 受業時数)	無	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 167 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等と連携を決れた況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	から第三 デについて任 p/vokohan 算定) うち企業等 でものを移動 (うち企業 できる。 うち企業等 できる。	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	受審年月:  留・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	実習・実技の 実習・実技の が授業時数 受業時数)	操	価結果を掲載した 一ムページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等と連携を決れた況	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	から第三 デについて任 p/vokohan 算定) うち企業等 でものを移動 (うち企業 できる。 うち企業等 できる。	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行と連携した演習の授う 実験時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター  を連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した 方ち企業等と連携した がいる。  「とは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	受審年月:  3・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの哲 立数  こ必修の実験・	実習・実技の ・ 実習・実技の ・ 対数 ・ 実習・実技の	操	価結果を掲載した 一ムページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	# から第三	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行と連携した演習の授う 実験・政連携した流習の授う 主連携した流習の授う 主連携した流習の授う を主連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月:  3・実技の授業 業時数 こ必修の演習の ーンシップの哲 立数 こ必修の演習の こと必修の演習の こと必修の演習の	実習・実技の ・ 実 接 の が 表 ま は の が 表 ま は の が 表 ま ま ま な の が ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な な ま ま な の か ま ま な な ま ま な な ま ま な な な ま ま な な な ま ま な な な な ま ま な	操	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携状化 を業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	# から第三	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行と連携した演習の授う 実験時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター  を連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した 方ち企業等と連携した がいる。  「とは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	受審年月:  3・実技の授業 業時数 こ必修の演習の ーンシップの哲 立数 こ必修の演習の こと必修の演習の こと必修の演習の	実習・実技の ・ 実 接 の が 表 ま は の が 表 ま は の が 表 ま ま ま な の が ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な な ま ま な の か ま ま な な ま ま な な ま ま な な な ま ま な な な ま ま な な な な ま ま な	操	価結果を掲載した	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携状化 企業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 :、例えば以下 評価団体: www.sanko.ac.ii 粒時間によるる 総授業時数 によるる第 総単位数	# から第三	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行と連携した演習の授う 実験・政連携した流習の授う 主連携した流習の授う 主連携した流習の授う を主連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月:  3・実技の授業 業時数 こ必修の演習の ーンシップの哲 立数 こ必修の演習の こと必修の演習の こと必修の演習の	実習・実技の ・ 実 接 の が 表 ま は の が 表 ま は の が 表 ま ま ま な の が ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な な ま ま な の か ま ま な な ま ま な な ま ま な な な ま ま な な な ま ま な な な な ま ま な	操	価結果を掲載した 一ムページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携状化 を業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 ・、例えば以下 評価団体: な時間による 数優業時数 「 な数による第 一 な数による第	p/vokohan 算定) ううち企業等 ううち企業等 (うち企業 (うち企業 (うち企多 (うち企多 (うち企多	者評価: 意記載 **a-beauty/ **bと連携した実験・実活と連携した演習の授証 **実験・支連携した大変と連携した うち企業等と連携したインター **を連携した大演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した **を連携した **を連携した **を連携した **で表現した *	受審年月:  習・実技の授業 業時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの哲  立数  こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こと必修の演習の 単位 立立	実習・実技の ・ 実 接 の が 表 ま は の が 表 ま は の が 表 ま ま ま な の が ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な の か ま ま な な ま ま な の か ま ま な な ま ま な な ま ま な な な ま ま な な な ま ま な な な な ま ま な	操	価結果を掲載した 一ムページURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL で業等をと連携を決した況 (A、Bいずれ)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等 、例えば以下 www.sanko.ac.i 立時間による数 を授業時数 による数 による数 「事棒学	p/vokohan 算定) うち企業等等 (うち企ま 定) うち企企業等等 (うち企ま でんの専門間	者評価: 意記載  na-beauty/  Fと連携した実験・実行と連携した演習の授う 実験・政連携した流習の授う 主連携した流習の授う 主連携した流習の授う を主連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受寄年月:  習・実技の授業 集時数  と必修の実験・ と必修の演習の 方 立 数 と必修の実験・ で と必修の実験・ で と必修の実験・ で と必修の で で が ながられて	実習・実技の )授業時数 受業時数) な数 実習・実技の )単位数 4位数)	操業時数	- A N - Y U R L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携状化 を業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 ・ Musankoaci 立時間による数 による数 ・ での他業業 ・ での他等等する	p/yokohan 算定) ううち企企業等等 (うち企企業等等 (うち企必修 (うち企必修 (うち企必 (うち企の (うち企 (うち企 (うちを企 (うちを企 (うちを企 (うちを企 () うちを企 () うちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らをと () らをと	者評価: 意記載  na-beauty/  を連携した実験・実活を連携した演習の授え 実時致 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 方を企業等と連携した 方を企業等と連携した 方ち企業等と連携した でする企業等と連携した でするで を連携したで でするで です でするで です です でするで でするで でするで でするで でするで でするで でするで です で	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の )授業時数 受業時数) な数 実習・実技の )単位数 4位数)	操	- A N - Y U R L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携状化 を業等の実施状れか	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 で、例えば以下 www.sanko.ac.i な時間によるる数 総授業時数 な数 による を が を が を が で の も に の も る も る る も る る る る る る る る も る る る る る る る る る る る る る	p/yokohan 算定) ううち企企業等等 (うち企企業等等 (うち企必修 (うち企必修 (うち企必 (うち企の (うち企 (うち企 (うちを企 (うちを企 (うちを企 (うちを企 () うちを企 () うちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らちをと () らをと () らをと	者評価: 意記載  **********************************	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の )授業時数 受業時数) な数 実習・実技の )単位数 4位数)	操業時数	- A N - Y U R L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL で業等をと連携を決した況 (A、Bいずれ)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	字から第三 (する) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また	者評価: 意記載  **a=beauty/  **Eと連携した実験・実行  **と連携した演習の授到  **実験・実行  **まままままままままままままままままままままままままままままままままま	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の )授業時数 受業時数) 支援 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数	無 評水 授業時数 単位数	ームページUR L 第1号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 5 単位	
第三者による 学材評価 当該学科のホームの はないでは、 とはないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 とは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 とは、 はなでは、 はなでも、 はなでも、 はなでも、 はなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも。 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをも	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 (主)	p/vokohan  (p) p/vo	者評価: 意記載  **a-beauty/  **Eと連携した実験・実活と連携した演習の授  **文集時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター  **Eと連携した演習の単行  **Eと連携した演習の単行  **位数 うち企業等と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と  **	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の: )授業時数 受業時数 (専修学校! (専修学校!	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 52 単位	
第三者による 学校評価 当該学科のホームRL 当該学科のジャールのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	p/vokohan  (p) p/vo	者評価: 意記載  **a-beauty/  **Eと連携した実験・実活と連携した演習の授  **文集時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター  **Eと連携した演習の単行  **Eと連携した演習の単行  **位数 うち企業等と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と連携した  **方と  **	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の: )授業時数 受業時数 (専修学校! (専修学校!	無 評水 授業時数 単位数	ームページURL 第1号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 5 単位	
第三者による 学材評価 当該学科のホームの はないでは、 とはないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 とは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 とは、 はなでは、 はなでも、 はなでも、 はなでも、 はなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも。 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをもをも	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 (主)	序から第三に p/vokohan	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の: 授業時数 受業時数 ・実技の: 対数 ・実技の: 単位数 ・(専修学校! ・(専修学校!	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号) (第3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 52 単位	
第三者による 学校評価 当該学科のホームRL 以内に は、大田のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、」 は、「中国のは、」」	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下  デース	p/vokohan	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの はず門課	実習・実技の対 授業時数 受業時数) 支票ででである。 を対して、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位 52 上 52 人	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機した況 に記入)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 評価機関以下 www.sanko.ac.i 立時間による数 では、 を持ち、 では、 な時間による数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	p/vokohan	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ に必修の演習の ーンシップの は に必修の にお にお にお には	実習・実技の対 授業時数 受業時数) 支票ででである。 を対して、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 0 単位 52 人	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機した況 に記入)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 (京評価機関以下 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京評価では、 (京記では、 (言記では、 (言記では、 (言記では、 (言記では、 (言記では、 (言記では、 (言記では、	p/vokohan	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ に必修の演習の ーンシップの は に必修の にお にお にお には	実習・実技の対 授業時数 受業時数) 支票ででである。 を対して、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 0 単位 52 人	
第三者による 学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機した況 に記入)	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 評価機関以下 www.sanko.ac.i 立時間による数 では、 を持ち、 では、 な時間による数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	p/vokohan	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受審年月:  3・実技の授業 株時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 哲立数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの は立数 こ必修の実験・ に必修の演習の ーンシップの は に必修の にお にお にお には	実習・実技の対 授業時数 受業時数) 支票ででである。 を対して、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	無 授業時数 単位数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 0 単位 52 人	
第三者による 学校評価 当該学科のホームRL 以内に は、大田のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、」 は、「中国のは、」」	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下 評価機関以下 対数に 対数に がい、sanko.a.c. に な時間による 数数に では では では では では では では では では では	p/vokohan  第三  p/vokohan  第定  ううううちちちちちちちちちちちを楽業等  まるな必  な変  まるな必  な変  まるなが  な変  まるなが  なる  なる  なる  なる  なる  なる  なる  なる  なる	者評価: 意記載  1a-beauty/  5と連携した実験・実行 5と連携した実験・実行 5と連携した流習の授到 東時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した に実験・実行 5と連携したスンター  5と連携したた実験・実行 5と連携したたと連携した 第と連携したたのの単行 位数 うち企業等と連携した 第と連携した 第と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方も企業等と連携した 第一方もであって  「表表ので、学校・大きを ・ で、学校・大きを ・ で、学校・大き	受寄年月:  響・実技の授業 等・実技の授業 を必修のの実験・ こと必修の演習の 対 の表現の では、	実習・実技の  沙授業時数  変業時数)  本数  実習・実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 単位数  ・ できない  ・ できない ・ できない  ・ できない ・ できない ・ できない  ・ できない ・ できない  ・ できない  ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない	無 授業時数 學置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- エスページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 47 単位 2 単位 0 単位 2 単位 15 人 0 人 3 人 53 人	
第三者による 学校評価 当該学科のホームRL 以内に は、大田のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、「中国のは、」 は、「中国のは、」」	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関以下	p/vokohan 算定) ラ ち た 企 企 修 格	者評価: 意記載  na-beauty/  sと連携した実験・実活とと連携した演習の授う 実験の うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を選携した を選携した を選携した を選携した を認力 を発音と連携した を表現	受寄年月:  響・実技の授業 等・実技の授業 を必修のの実験・ こと必修の演習の 対 の表現の では、	実習・実技の  沙授業時数  変業時数)  本数  実習・実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 実技の  ・ 単位数  ・ できない  ・ できない ・ できない  ・ できない ・ できない ・ できない  ・ できない ・ できない  ・ できない  ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない ・ できない	無 授業時数 學置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	- エスページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 2 単位 2 単位 2 単位 2 単位 52 単位 0 単位 52 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4) その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体 等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月18日現在

名 前	所 属	任期	種別
熊谷 心	salon銀座	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
髙橋 健二	株式会社M.SLASHホールディングス	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
伊藤 寛子	一般社団法人 一生美容に恋する会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
松川 喜代美	横浜ビューティーアート専門学校 副校長		_
河崎 力	横浜ビューティーアート専門学校 教務課長		_
遠藤 幸枝	横浜ビューティーアート専門学校 教務主任		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

#### (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月16日 15:00~17:00

第2回 令和7年9月12日 15:00~17:00

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①失敗から学ぶ姿勢の醸成

⇒対応:失敗を恐れず、早い段階で挫折を経験し、そこから学ぶことの重要性を伝えている。精神的なサポート体制を整え、 メンタル面での支援を強化している。

②コンテストを成長の機会と捉える

⇒対応:コンテストは成長のチャレンジの場として活用し、全員参加を目指すのではなく、興味のある生徒に対して積極的に 機会を提供している。審査員の傾向や過去の入賞作品を分析し、指導に取り入れることで、実践的なスキル向上を図ってい る。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価 基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- \*授業内容について(1年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な技術を習得する…)
- \*評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする…)

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
着付け	師が全ての授業を主担	着物文化の指導者として検定取得を目指し、 着付けの技術や着装の指導など、着物全般に 対するアドバイスを行う為の知識を習得する。	株式会社 東洋きもの文化学院

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 連携企業等: 期間: 対象:

内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 連携企業等:

期間:

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: テクニカルクリエイティブスタイル 連携企業等:株式会社ASPILEAF

対象:

期間: 令和7年9月27日 対象: 実技教員 7名

内容 山口貴大氏による、美容ヘアスタイル講習

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: J'sセミナー 連携企業等: 株式会社J's

期間: 令和7年9月30日 対象: クラス担任教員(10名)

内容 進路指導、モチベーション向上に関する研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

## (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 子   子   大   に   3   1   2	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- 委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
- ①コミュニケーション能力が問題。仕事に対してのフィードバックを受けるのが苦手な社会人が多い。悲観的に 物事をとらえてしまう。
- ⇒対応:社会に出た時のギャップを少しでもなくす為に授業内容を工夫していく。
- 2学校と現場がつながる場面を増やしていくべき。
- ⇒対応:インターンへの協力やアルバイト採用等新たな連携策を増やしていく。
- ③ICT教育推進の取り組みを進めてほしい
- ⇒対応:引き続きデジタル教科書、SNS活用、VRの活用を進めていく

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
髙橋 健二		31日(1年)	関連業界等 関係者
佐々木 康人	ンパス長	31日(1年)	教育に関し 知見を有す
齋藤 舞香		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	卒業生
加藤 美果	15年   T 42 7	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5<u>)学校関係者</u>評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/

公表時期: 令和7年7月3日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

- 1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
- 2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
- 3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に	関するガイドライン」の項目との対応
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価·学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)情報提供方法

広報誌等の刊行物 ・ その他( ))
<a href="https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/2025/docs/schoolinfo.pdf">https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/2025/docs/schoolinfo.pdf</a>

公表時期: 令和7年5月21日

## 授業科目等の概要

					授業科目寺の概要										_
		択	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演	法 実験・実習・実	校	校	専任	企業
1	0			保健 I	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的なら びに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化 学」と関連させながら知識の習得する。	1 通	30	1	0			0			0
2	0			保健Ⅱ	皮膚付属器官の構造及び機能、毛髪などの構造・機能の知識を 美容技術と関連させて学びます。	2 通	60	2	0			0			0
3	0			文化論 I	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を 広げるエッセンスとなる日本・西洋のファション文化史の流れ を習得する。	1通	30	1	0			0			0
4	0			文化論Ⅱ	美容文化史、美容デッサン、服飾・ファッション・デザインの 変遷、色彩や表現方法などについて学びます。	2 通	30	1	0			0			0
5	0			運営管理	サロン経営に必要な経営管理、労務管理、接客法、マーケティングなどの知識・手法を学びます。	2 通	30	1	0			0			0
6	0			美容技術理論 I	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。	1通	90	3		0		0			0
7	0			美容技術理論 II	エステ・メイク・ネイル・着付け・まつ毛エクステンションな ど美容全般の技術と理論について学びます。	2 通	60	2		0		0			0
8	0			関係法規・制度	衛生行政、美容師法など、美容に係わる法律について学び、知 識を深めます。	2 通	30	1	0			0			0
9	0			衛生管理 I	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。		30	1	0			0			0
10	0			衛生管理Ⅱ	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解を深めます。	2 通	60	2	0			0			0
11	0			香粧品化学	美容機器・香粧品を適正に取り扱うために、機械器具、香粧品 の働きを理解し、正しく取り扱う上で必要な科学的知識を学び ます。	2 通	60	2	0			0			0
12	0			美容実習I-A	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理 解し習得する。	1 前	90	3			0	0			0
13	0			美容実習 I - B	シャンブーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施 術内容によるシャンブーイングの違いを知る。	1 前	90	3			0	0			0
14	0			美容実習I‐С	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの 構成 基礎知識を習得する 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現 場での基礎技術を出来る様にする。	1 前	90	3			0	0			0
15	0			美容実習I‐D	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容節国家試験第2課題オールウエーブ技術について基礎を理 解し習得する。	1 後	90	3			0	0			0
16	0			美容実習 I - E	【リインティング】 美谷師国家試験売と課題リインティング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する。 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎知識・現場での基礎が	44	90	3			0	0			0
17	0			美容実習 I - F	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解 する。	1 後	60	2			0				0
18	0			美容実習Ⅱ - A	美容師国家資格第1・2課題、衛生面を中心に知識・技術を習得し、美容師国家試験合格を目指す。	2 前	60	2			0	0			0
19	0			美容実習Ⅱ - B	美容師国家資格第1・2課題、衛生面を中心に知識・技術を習得し、美容師国家試験合格を目指す。	2 前	60	2			0	0			0
20	0			美容実習Ⅱ-(	美容師国家資格第1・2課題、衛生面を中心に知識・技術を習得し、美容師国家試験合格を目指す。	2 後	90	3			0	0			0
21	0			美容実習Ⅱ - D	美容師国家資格第1・2課題、衛生面を中心に知識・技術を習得し、美容師国家試験合格を目指す。	2 後	90	3			0	0			0
22	0			美容実習Ⅱ - E	美容師国家資格第1・2課題、衛生面を中心に知識・技術を習得し、美容師国家試験合格を目指す。	2 後	90	3			0	0			0
23			0	ビジネスマナー I	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社 会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1 前	30	1	0			0			0
24			0	ビジネスマナーⅡ	郭節の使い方や腹陸番の書き方、ヒンネスメ書の書き方など在 会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。 美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを 活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようにな ス	1 後	30	1	0			0			0
25			0	カラー&ファッション	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1 前	30	1	0			0			0
26			0	着付け	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1 後	60	2		0		0			0 0

- 1			1	Т					_	 T 1	
27	0	ヘアアレンジ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や 着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知 歳を習得します。		60	2		0	0	0	
28	0	未来デザインプログラム	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を 出来る様にする。	1通	30	1	0		0	0	
29	0	キャリアデザイン	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。	1通	30	1	0		0	0	
30	0	就職対策 I	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識を持って学校生活を 送る	1 通	30	1	0		0	0	
31	0	就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導します。	2通	30	1	0		0	0	
32	0	美容実践 I - A	へアーサロンソークで必要なカットスタイルの基礎を理解 し、スタイルに合わせたプローやスタイリングを学ぶ。カラー リングの基礎を理解し、実践的に学ぶ。 メイク ■スキンケアがらフルメイクまでのメイクの技術を習得	1	90	3		0	0	0	
33	0	美容実践 I - B	前根を薄触   工事権で考え上う」である。  特殊・アーテイスト・モテルメイク   ホティアート、傷メイ 力など特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践 できるようにする。 【ペーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイク の技術を実現   再根本音楽   工事権でするようにする。	244	90	3		0	0	0	
34	0	美容実践I‐С	【花嫁着付け】着付に関する知識・技術を身につける。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイク の技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。	1 後	90	3		0	0	0	
35	0	美容実践 I - D	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消 毒法などを理解し、 基礎的なマニキュア技術を実践できる。	1 後	90	3		0	0	0	
36	0	美容実践 I - E	【イイル検定対策】 イイルについて歴史などの背景から始まり 各部名称や病気・消毒法などを理解し、 基礎的なマニキュア技術を実践できる。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイク	1 後	90	3		0	0	0	
37	0	美容実践 I - F	○成協を翌億1 理様を音様」で事業でもろようになる (カフー) サロンリーウで必要なのットスタイルの基礎を理解 し、スタイルに合わせたブローやスタイリングを学ぶ。カラー リングの基礎を理解し、実践的に学ぶ。 【ペーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイク の技術を翌線1 理様を音樂1 て実際でするようにする	1 後	90	3		0	0	0	
38	0	美容実践Ⅱ - A	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。		90	3		0	0	0	
39	0	美容実践Ⅱ-B	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。		90	3		0	0	0	
40	0	美容実践Ⅱ - C	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。	2 前	90	3		0	0	0	
41	0	美容実践Ⅱ - D	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。		90	3		0	0	0	
42	0	美容実践Ⅱ - E	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。	2 前	90	3		0	0	0	
43	0	美容実践Ⅱ - F	メイクアップ、パーマ・カラー、花嫁着付け、ネイルなどの美容に関わる科目全般を選択履修。応用技術・深い知識及び実践力を身につける。	2 通	90	3		0	0	0	
44	0	サロンワークA	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通		4		0	0	0	
45	0	サロンワークB	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通	120	4		0	0	0	
46	0	サロンワークC	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通	120	4		0	0	0	
47	0	サロンワークD	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通	120	4		0	0	0	
48	0	サロンワークE	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通	120	4		0	0	0	
	0	サロンワークF	業界からの要望を反映しアイラッシュエクステンション・ヘア アレンジ技術を導入しています。	2 通	120	4		0	0	0	
49					,		l I	1			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ę
卒業要件: 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必 卒業要件: 要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	1 学年の学期区分	2 期
原則として教育課程に定められている順序で履修する。 履修方法: なお自由選択科目は23~31は必履修科目、32~49は選択必履修科目とする。	1 学期の授業期間	15 週

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

<sup>(</sup>留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。